

防災あいずみ

令和2年4月15日発行 第28号
発行元：藍住町総務企画課危機管理室
電話 637-3111

令和2年度藍住町木造住宅耐震化促進事業のご案内

町では、木造住宅の耐震化を進めるために耐震診断、改修工事等の費用を助成しています。南海トラフ巨大地震等の災害に備えるために、ぜひご活用ください。

耐震診断支援事業

現状の耐震性能を把握する事業

- ①要件
- ・平成12年5月31日以前に着工された木造住宅（併用住宅、共同住宅、長屋、借家、空き家を含む）
 - ・在来軸組構法、伝統構法、枠組壁構法により建築された3階建て以下の住宅
- ②受付戸数 ・30戸
- ③自己負担額 ・3,000円

耐震補強計画支援事業

改修工事の参考となる補強計画を提示し耐震改修等を促進する事業

- ①要件
- ・耐震診断で、評点1.0未満と判定
- ②受付戸数 ・30戸
- ③自己負担額 ・無料

耐震改修支援事業

本格的な耐震改修工事

- ①要件
- ・耐震診断で、評点1.0未満と判定
- ②必須工事
- ・改修後の評点を1.0以上とする工事
 - ・分電盤タイプの感震ブレーカーの設置
- ③受付戸数 ・15戸
- ④補助額 ・110万円（補助率4/5）

住まいのスマート化支援事業

耐震と併せて最先端のリフォーム工事

- ①要件
- ・耐震改修支援事業又は耐震シェルター設置支援事業と併せて行う
- ②必須工事
- ・情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）を活用した設備を設置するスマート化工事
- ③受付戸数 ・20戸（予定）
- ④補助額 ・30万円（補助率2/3）

耐震シェルター設置支援事業

住宅が倒壊しても一部屋の空間は確保

- ①要件
- ・耐震診断で、評点1.0未満と判定
 - ・現在居住している住宅
- ②必須工事
- ・耐震シェルター又は耐震ベッドの設置
- ③受付戸数 ・5戸
- ④補助額 ・耐震シェルター 80万円
・耐震ベッド 40万円
（補助率4/5）

住替え支援事業

建替えや住替えに伴い古い住宅を除去

- ①要件
- ・耐震診断で、評点0.7未満と判定
 - ・昭和56年5月31日以前に着工
 - ・現在居住している住宅
- ②必須工事
- ・住宅の全てを除去
- ③受付戸数 ・5戸
- ④補助額 ・30万円（補助率2/5）

防災・避難訓練について

令和2年度の防災・避難訓練を次のとおり予定しています。ぜひご参加ください。

訓練名	開催場所	参加対象者
町民一斉避難訓練	町内各小中学校体育館	全住民
総合防災訓練	藍住町町民体育館	全住民



※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催日は未定です。

※各訓練の詳細は、今後、広報あいずみや町ホームページで随時お知らせします。

安心・安全な避難所生活を目指して

災害時の避難所での生活の質を向上させるために、町では毎年度備蓄品を拡充しています。昨年度は保存食、保存水といった生活必需品のほか、避難所用の大型扇風機やワンタッチで開く簡易間仕切り、簡易ベッドなどを導入しました。今後も住民の皆さまが安心して避難所生活が過ごせるよう計画的に備蓄品の拡充を図っていきます。

今後の訓練等で展示予定ですのでぜひ訓練に参加し、ご利用してください。



保存食（アルファ米）



大型扇風機



簡易間仕切り



簡易ベッド

NET119 緊急通報システムをご存知ですか？

★NET119緊急通報システムとは

聴覚や言語機能などに障がいがあり、音声による119番通報に不安がある方を対象に、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用し、簡単な操作で119番通報をすることができます。

通報と同時に、携帯電話にあるGPS（位置情報）機能を利用して、外出先でも通報者の居場所が把握しやすくなります。また、チャット形式で文字による対話が可能となり、消防車や救急車の迅速な出動につながります。

★利用対象者

藍住町在住又は在勤・在学されている方で聴覚や言語機能などに障がいがあり、音声による119番通報に不安がある方。

詳細は板野東部消防組合ホームページをご覧ください。か、板野東部消防組合通信指令課までお問い合わせください。

問合せ先 板野東部消防組合消防本部 通信指令課

（住所：板野郡北島町北村字大開11番地1 電話：698-9119

ファクシミリ：697-3014 電子メール：tsushin@itanotobu-fire.jp）

令和元年度未来を守る防災活動賞（自主防災部門）受賞

★おめでとうございます★

この表彰は、防災活動の顕著な取組により、地域の防災・減災対策の推進に大きな貢献をした団体等に対して行うものです。

藍住町からは、すみよし団地自主防災隊が受賞されました。

すみよし団地自主防災隊では、隊員が災害時に消火器や防災倉庫などの防災資器材の配置場所が把握できるよう地域独自の防災マップを作成していることなどが、地域防災力の向上に貢献しており、高く評価されました。



右 すみよし団地自主防災隊隊長
河野 誠市 氏

令和第4号「新居須自主防災組織」結成 令和第5号「竹ノ瀬南自主防災組織」結成



会長 野田 稔 氏
新居須自主防災組織



会長 村山 正敏 氏
竹ノ瀬南自主防災組織

大地震などの大規模災害による被害を防止し、軽減するためには、日頃から一人一人が防災活動に積極的に参加するなどの地域住民による組織的な活動を行うことが大切です。

このようなことから、総務企画課危機管理室では本町の防災体制の充実、強化のため、自主防災組織の結成促進及び活動の活性化を図り、地域防災力を強化するとともに、災害に強いまちづくりを推進しています。

一昨年から、竹ノ瀬南、新居須北・南地区の住民の皆さまへ自主防災組織の現状説明を行い、休止状態であった組織を再活性化するため各地区内の意見を取りまとめました。

その後、各集会所で地区住民の皆さまへの説明会、出前講座を開催し、規約、役員、班編成等が決定し、令和元年12月1日に野田稔会長の下74世帯の組織として、新居須自主防災組織、村山正敏会長の下41世帯の組織として竹ノ瀬南自主防災組織が結成されました。

今後は、各種防災器材等の整備、防火・防災知識の普及啓発、地域の安全点検、防災訓練の実施などの様々な活動を行い、新居須、竹ノ瀬南地区を中心とした「**自分たちの地域は、自分たちで守る**」という地域住民の自衛意識と日頃からの防災意識の高揚を図り、地域が一体となった、災害に強い地域づくりが期待されます。



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

密

を避けて
外出しましょう!



①換気の悪い
密閉空間



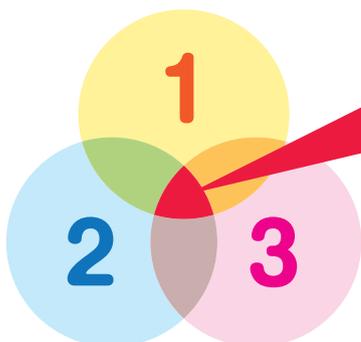
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には
消毒などを行ってください。



厚労省 コロナ

検索

